

# 成沢城跡公園散策



## ⑧ 山形市 ウォーキングマップ

●距離/約 1,500m ●時間/約 50分 ●カロリー/約 80kcal ●歩数/約 3,000歩

① ほりきり堀切




敵の襲来を遮るために山の尾根筋に造られた堀のことで、

② どるい土塁



主郭か副郭のどちらかが敵の手に落ちても残りの曲輪に敵が侵入するのを防ぐ目的で造られたと考えられます。


③ しゅかく主郭



成沢城の拠点となる曲輪。本来山頂であったところを削って平らにしたと考えられます。南の麓にある八幡神社は元はここに鎮座し、成沢城築城に際し現在地に移転したと伝えられ信仰と密接に関わっていました。




④ はちまんじんじや 八幡神社



天喜5年(1057年)陸奥守源頼義が男山八幡を分遷し戦捷を祈願したと伝えられます。平成11年成沢城跡公園整備を記念して成沢城本丸跡に奥宮を建立し成沢総守護神社として崇拝されています。

⑤ はちまんじんじやいしとりい 八幡神社石鳥居



凝灰岩製高さ436cm、柱は95.5cm直立柱でその上に一石よりなる島木と笠木をのせています。平安時代末期の造立と推定され、龍山仏教文化の繁栄した時代、鳴澤口参道入口の象徴として石鳥居が建立されたと伝えられ、昭和27年最古の鳥居として国の重要文化財に指定されています。

⑦ エントランス広場 ゴール

ばとうかんのんどう 馬頭観音堂



副郭は主に北方面に対しての防御を担っていました。北や西の尾根筋に麓から続く小規模な曲輪が設けられ、これらと連動して敵の侵入を防いだと考えられます。今は馬頭観音堂があります。

⑥ なりさわ ろくじぞうせきどう 成沢の六地藏石幢



城の東に望む瀧山は昔から信仰の山として、多くの登山者を集めました。このため城内や周辺集落に信仰の痕跡を残す石造文化財等が多く点在しています。



# 1ブロック



山形市健康づくり運動普及推進協議会とは、健康づくりのための運動を普及啓発する健康づくりボランティア（運動普及推進員）で組織する団体のことです。

## ・主な活動について

地域からの要請や共催を含め、6カ所を担当しています。先に年間の人員配置を計画し、担当する会員を決めて活動しており、ストレッチ体操やリズム体操等、健康づくりのための運動を普及しています。



リズム体操の1つ「サザエさん」では、大きな声を出さずに目で笑うことをお願いするなど、コロナ禍でも一緒に楽しく体を動かせるよう工夫し「さわやかに楽しく運動しよう」を合言葉に地域の健康づくりに励んでいます。

令和2年1月17日に行われた令和元年度運動普及推進員養成講座修了生と協議会会員との交流会では、東京2020オリンピック応援ソング「パプリカ」に合わせ、1ブロックプラチナバージョンパプリカダンスを披露しました。10回の合同練習と各自トレーニングを重ね、当日は1ブロックが「ONE TEAM」となり、交流会を大いに盛り上げました。



さらに会員から、頑張った記録を残したいとの声があがり、パプリカダンスのDVD撮影会を計画し、令和3年6月に撮影会を終えることができました。

コロナ前の  
楽しい  
思い出です！

1ブロックは、山形市内の南部地域（滝山・東沢・南沼原・南山形・蔵王地区）を拠点に27名の会員で活動しています。

滝山地区は、悠創の丘や東北芸術工科大学など、自然と文化の香りあふれる地区です。東沢地区は、蔵王山系の水資源やホテルの群生を鑑賞できる自然環境が豊かなところです。南沼原地区は、住宅・商業地として発展しています。南山形地区は、自然に恵まれた風土と豊かな歴史遺産があります。蔵王地区は、蔵王温泉やスキー場などの観光地です。

## ・ウォーキングコースについて

成沢城は山形盆地の南東部に位置し、置賜方面や上山からの敵の進行に第一に食い止めるべき最上領南部の最前線に位置する城郭です。春はオオヤマザクラ、コブシ、椿、山吹、眼前にはシャガ、カタクリ等の可憐な花も見られます。特に、オオヤマザクラは地元住民が園内に植樹し、その後育樹等を行っており、新たな桜の名所になりつつあります。秋はカツラ、コナラ等の紅葉も見事です。又、カモシカも時々現れ、澄んだ瞳で人々を観察している時もあります。コースの距離は短いので、どなたでも気軽に散策できます。



他のマップはこちら →

